OTSU 大津市 Lake Biwa

ＤＨＥＡＴ及び被災地の健康支援活動について

令和6年9月20日

健康保険部保健所
保健総務課地域保健推進室　平田　浩二
保健予防課　大下　彩子

DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）

OTSU 大津市 Lake Biwa

DHEATとは

DHEATは一定規模以上の災害が発生した際に、業務量が増える被災都道府県や保健所等が担う指揮・総合調整が機能不全にならないように支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成される応援派遣チームであり、平成３０年３月の厚生労働省健康局健康課長通知にて制度化された。

DHEATの活動理念は、大規模災害発生時に被災都道府県等の指揮調整機能の支援を通して、「防ぎ得た死と二次健康被害を最小限に抑えること」と「被災地の住民ができる限り早く通常の生活を取り戻すこと」であり、本部機能強化のための人的支援にあたる。

滋賀県DHEAT

令和６年１月４日から２月２日まで、能登北部保健所に４班体制でDHEAT要員を派遣した。

班は医師、保健師、業務調整員（薬剤師、獣医師）の５名程度で構成され、１班につき１０日程度の期間派遣され、引継ぎを行い活動した。大津市からは第３班に医師及び保健師を派遣した。

滋賀県DHEATとしては、今回が初めての災害派遣となった。

派遣体制（令和６年１月２６日　石川県保健医療福祉調整本部会議資料より）

	能登北部保健所			
	輪島市	**珠洲市**	**穴水町**	**能登町**
支援組織	輪島市 保健医療福祉 調整本部 （輪島市役所）	珠洲市 保健医療福祉 調整本部 （健康増進センター）	穴水町 地域医療救護 活動支援室 （保健センター）	能登町 保健医療福祉 調整本部 （能登町役場）
DHEAT	能登北部保健所：滋賀県			
	熊本県	岐阜県	山梨県	茨城県
保健師	**１４チーム ４３人**	**１１チーム ３０人**	**４チーム １４人**	**６チーム １６人**

滋賀県DHEAT活動の変遷

OTSU 大津市 Lake Biwa

	第１班	第２班	第３班	第４班
期間	1月4日～	1月11日～	1月18日～	1月25日～2月2日
保健所の環境整備	活動場所の確保 (会議室の片づけ)	トイレや手洗いの設備管理 →	→	→ ラジオ体操を開始
保健所BCP	保健所が果たす機能を把握	保健所業務への支援を検討	市町保健業務の再開方法を検討	保健所が市町を支援 （DHEATは輪島市支援）
DHEAT活動	立ち上げ（保健所との関係を構築） ・保健所の方針を把握 ・保健師チーム等の受援対応 ・輪島市担当のDHEATとの連携 ・避難所における健康管理 →	実働（保健所の負担軽減） ・2市2町担当のDHEATとの調整 → ・滋賀県の役割を明確化 ・門前地区への職員派遣	・要配慮者への訪問を実施 → ・町野地区への職員派遣準備	輪島市のDHEAT業務 ・輪島市の保健医療福祉調整機能への支援 → ・後続県に引継ぐ準備 →

滋賀県DHEAT第３班の活動概要

OTSU 大津市 Lake Biwa

派遣期間

令和６年１月１８日（木）～２７日（土）

派遣職員

中村保健所長・平田保健師
滋賀県の保健師１名、業務調整員２名とチームを編成

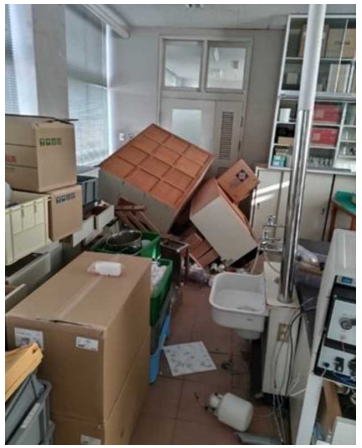
活動場所

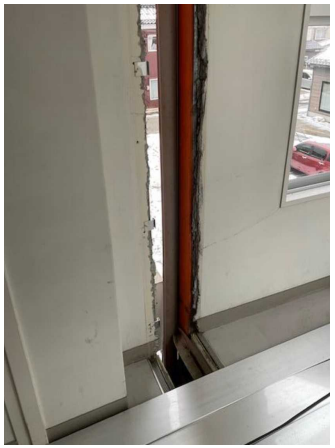
石川県能登北部保健所、輪島市役所　等

活動内容

能登北部保健所が実施する指揮調整機能への支援
輪島市保健医療福祉調整本部会議への出席
石川県保健医療福祉調整本部会議へのオンライン出席
石川県DHEAT連絡会議へのオンライン出席
輪島市で活動する保健師派遣チームのとりまとめ　等

能登北部保健所（外観）





能登北部保健所（内部）

DHEAT　保健所の指揮調整機能への支援

OTSU 大津市 Lake Biwa

能登北部保健所との会議（1日2回）

- 保健所長及び統括保健師との活動方針の協議
- 輪島市の保健師派遣チームの活動内容の協議

輪島市保健医療福祉調整本部会議（1日1回）

- DHEATチームの医師が司会進行
- DMAT（災害派遣医療チーム）、JMAT（日本医師会災害医療チーム）、JDAT（日本災害歯科支援チーム）、DPAT（災害派遣精神医療チーム）等の活動調整
- 輪島市医師会員との診療状況の情報共有

管轄の2市2町のDHEAT間の調整（1日1回）

- 石川県保健医療福祉調整本部会議へのオンライン出席
- 石川県DHEAT連絡会議へのオンライン出席

輪島市保健医療福祉調整本部会議

薬剤師チームとの連絡調整

DHEAT　保健師派遣チームのとりまとめ

OTSU 大津市 Lake Biwa

輪島市保健師派遣チームとのミーティング（1日2回）

- DHEATチームの保健師がミーティングの司会進行
- 保健師チーム間の役割分担
- 輪島市の統括保健師との情報共有

避難所での健康管理

- 保健師チームが避難所を巡回
- 歯科医師会及びJDAT（日本災害歯科支援チーム）との情報共有と巡回場所の調整

要配慮者への訪問

- 輪島市から提供された要配慮者リストをもとに自宅を訪問して安否確認
- 輪島市から確認依頼があった方については迅速な訪問
- 訪問状況の管理と輪島市への進捗報告

保健師派遣チームミーティング

歯科医師会の打合せ

保健師派遣　①

OTSU 大津市 Lake Biwa

応援派遣による保健師の活動

目的：避難所等における被災者の健康の維持
　　二次健康被害や災害関連死の防止
内容：被災者の健康相談、健康管理及び避難所等の衛生対策

額谷ふれあい体育館

滋賀県からの保健師派遣

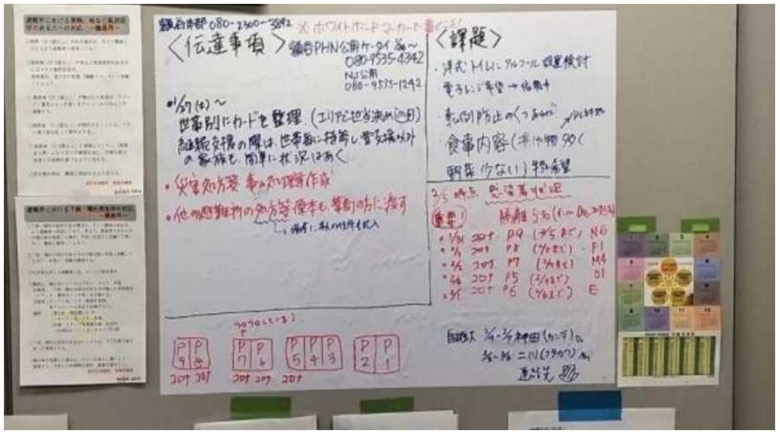
期間：令和６年２月４日～５月２９日
派遣先：石川県金沢市の避難所（額谷ふれあい体育館等）
構成員：滋賀県の保健師及び業務調整員と市町の保健師
本市の派遣者：２月　４日～２月　９日　　加藤保健師
　　３月１０日～３月１５日　　大下保健師
　　４月１４日～４月１９日　　中西保健師
　　５月１９日～５月２４日　　八木保健師

保健師派遣　②

OTSU 大津市 Lake Biwa

被災者全体への支援

- 被災者の特徴を踏まえた声かけ
- 健康アンケートによるスクリーニングの実施
- 避難者全体の課題把握　⇒　課題に応じた対策
- 健康課題の見える化
- 環境調整
- 応援チーム同士の連携、情報共有
- 早期対応（必要な医療や福祉につなぐ）



伝達・課題管理ボード

変化する健康課題に対応

- 感染症予防
- 生活習慣病予防
- フレイル予防
- メンタルヘルス対策
- 食中毒予防

保健師チーム事務室

らくらく簡単体操

保健師派遣　③

OTSU 大津市 Lake Biwa

ハイリスク者への支援

- 精神疾患の方
- 認知症の方
- 車いすの方
- 単独避難の未成年者

継続支援の必要性

- 定期的なミーテイング
- 介護保険等の持続可能なサービスを調整

受援側への配慮

- 応援チームとの連携
- 受援側のカギとなる支援者へつなぐ
- 指摘ではなく具体的な提案をする

居室・ベッド

本部ミーティング

DHEAT及び被災地の健康支援活動のまとめ

OTSU 大津市 Lake Biwa

DHEATについて

・管轄の２市２町のDHEATチームとの連絡調整、輪島市の保健医療福祉調整及び保健師派遣チームの活動調整等により、能登北部保健所への支援を行った。

保健師派遣について

・輪島市からの避難者を収容する金沢市内の避難所にて、避難所の衛生対策、健康相談、健康管理を行い、必要な方は介護保険等のサービスにつないだ。

今後の本市での備えについて

・本市で大規模災害が発生した際に備えて、引き続き、防災訓練や職員研修を実施します。
・健康支援活動に関して、平時から受援に向けた準備を進めるため、受援に関する研修を実施します。

大規模災害における受援研修